

会保険医療協議会の答申がなされ、国において検討を行っている聞いています。⑤これまでの基本健康診査と同様、すべての後期高齢者の方に利用していただけるよう、新たに総合健康診査として実施します。

皮革履物産業の振興について

問 ①産業研修センターの整備にあたり、関係者からの意見聴取と、整備検討のための協議会の設置が不可欠ではないか。②靴産業に関心を持つ若者の状況を調査し、意見を把握すべきではないか。③職人の高齢化が進行する中、若い職人を育てようとして「靴塾」などの取り組みも始まっており、このような取り組みに対して支援すべきではないか。④A S A K U S Aブランドを立ち上げ、若い力を活用して台東区内で靴づくり

を行うことが、地域経済と街の活性化につながると考えるが、どうか。

答 ①産業研修センター運営委員会等のご意見をお聞きしながら、取り組んできました。今後とも、地場産業団体など多方面からのご要望も参考にしながら、整備を進めていきます。②業界団体などを通じて現状把握に努めてきましたが、今後ともあらゆる機会をとらえて意見や要望を聞いていきます。③現在整備を進めている産業研修センターを活用した支援を行うなど、施策の充実を図ります。④区では、皮革製品をはじめとした地場製品の付加価値を高めるため、地場産業団体とともにブランドを立ち上げ、取り組んできました。現在、これまでの取り組みを検証し、ブランドのあり方について業界団体と協議しています。



堀越 秀生 (いぶきの会)

補助金のあり方について

問 ①補助金が公益上必要であるかどうかの判断の客観性・妥当性をどのように担保し、またどうあるべきと考えるか。その基本的な考え方について伺う。②補助金交付を統括する基本方針は存在するのか。また、補助金交付の目的や基準、事業内容、成果について、常に区民に公開性が担保されているのか。③単なる事前事後の書類審査ではなく、補助金の目的や効果、効率性、有効性を検証する評価システムが必要と考

えるかどうか。④補助金のあり方については、抜本的な見直しや精査が必要であり、公募区民や専門家を交えた外部機関の設置が必要と考えるがどうか。

答 ①事務事業評価や予算編成の手続き等により、あらゆる視点から検討し、担保しています。②各補助金を統括する基本方針は、基本的事項を規則に定めています。交付の目的や基準は、補助金ごとに実施要綱で定めています。効果の検証については、各団体からの報告書や、事務事業評価等により、個別に精査を行っています。評価の結果については、区のホームページにも掲載し、区民に対する公開性を担保しています。③現在の手法では、費用対効果等を詳細に検証することが難しい面もあり、評価システムについては、引き続き検討していきます。④補助金のあり方やその効果については、外部の視点でご意見をいただくことも有効な手法であると認識しています。議員のご提案も含め、検討していきます。



石川 義弘 (台東区議会自由民主党)

水辺のまちづくり

問 水辺景観の整備は、水上バス・新タワーからの誘客に重要な観光ポイントになると考えられる。言問橋・厩橋間の景観整備を行うためには、建物に対する法規制の緩和や様々な景観整備に対する補助など、川から見たまちづくりが必要と考える。水辺景観整備についての区長の所見を伺う。**答** 台東区都市計画マスタープランでは、隅田川を水の拠点とし、下町文化をつなぐ東京を代表する景観資源として捉えています。議員ご指摘のとおり、新タワー完成後の隅田川の水辺景観は、誘客のため、さらに重要な景観ポイントになると考えます。議員ご提案の様々な水辺景観整備についても、大変重要な課題であると認識しています。今後、地元の方々からのご意見をお聞きしながら、具体的な整備について検討していきます。**問** 現在のライトアップでは、浅草の町の夜景が新タワーからはっきりと認識されないのではないか。台東区を際立たせるライトアップを検討すべきと考えるが、区長の所見を伺う。**答** 新タワーの来場者が、東京を上から眺望した際に、浅草や上野を見つけて、「行ってみよう」と思っただけは大切で、夜はライトアップに

よってアピールすることも有効な方法であると考えます。新タワーからの眺望やライトアップのあり方については、浅草地域まちづくり推進協議会において検討を進めていきます。また、夜にはタワーにイルミネーションを灯す計画と聞いており、新たな景観が生まれます。区内の各地域からタワーが眺望できるようになるため、その景観を活かす方法についても検討していきます。

東参道・二天門通りについて

問 東参道・二天門通りの現在の状況は観光バスが常時駐停車し、あまり歩きたくない道路になっている。しかし、新タワーが完成すると、水辺と浅草寺を結ぶ重要な観光ルートになるものと考えられる。通りの整備と観光バスの乗降システムの構築を含めた観光バス対策は、国際観光都市を目指す台東区として早急に取り組むべきと考えるが、区長の所見を伺う。**答** 浅草地域にとって通称二天門通りは、浅草寺から区民会館、隅田公園、隅田川を結ぶ重要なルートであると考えています。整備のあり方については、現在検討中であり、区民にとっても、来街者にとっても、機能的で魅力ある通りとして整備していきます。浅草地域の発展のために、観光バスは重要な交通手段です。しかし、駐車場が不足している状況にあり、今後確保に努める必要があると考えています。また、乗降場所の確保と乗降システムの構築も不可欠と考えています。現在、新タワーを見据えた実態調査を行っており、その結果を踏まえ、国や都を交えて対応策を検討していきます。



成澤 敬 (台東区議会区民クラブ)

「新型インフルエンザ等」対策についての現状と今後の危機管理

問 新型インフルエンザ等による疾病の爆発的な拡大感染が世界的に懸念されているが、観光都市である台東区は、よりそのリスクに晒されていると考える。新型インフルエンザ等が発生した場合の宿泊施設や観光施設への対応、また、感染者が出た場合の医療施設の受け入れ体制はどうなっているのか、さらに今後どのようにしていくのか、区長の所見を伺う。**答** 新型インフルエンザの発生が確認された場合、直ちに、「健康危機管理対策本部」を設置し、健康被害を最小限に抑えるため、医療相談体制の確立など、あらゆる措置を講じていきます。今後は、宿泊施設での感染者の移動の制限や、観光施設への立入りを制限することも視野に入れ、感染の拡大を防いでいきます。さらに、医療施設の受け入れ体制については、「健康危機管理連絡協議会」において、医師会等と協議を行っています。国、都、他の区市町村との緊密な連携により、新型

インフルエンザ等の発生情報をいち早く把握し、迅速な対応を図ります。

「したまちコメディ映画祭 in 台東」への取り組みと展望

問 本年開催される「したまちコメディ映画祭 in 台東」は、国際映画祭として、どのような映画祭を計画しているのか。また、映画祭を企画する体制や運営方法はどのようになっているのか。さらに、来年度以降の映画祭の展望について、区長の所見を伺う。**答** この映画祭は、日本を代表する「文化・芸術のまち」台東区の魅力を世界に発信することを目的として開催するもので、「コメディ」をテーマに、上野地区と浅草地区の各会場で世界中のコメディ映画を上映します。現在、ティーンズ懇談会委員、地元各種団体等の代表で構成する実行委員会を組織し、映画祭の企画や内容等について検討を行っています。また、この映画祭は、地域と協働して区内の「にぎわい」を創出することも重要な目的としています。実施にあたっては、区民ボランティアや、地元商店街等、地域と一体となった、下町の活気あふれる映画祭にしたいと考えています。来年度以降の展望については、映画祭だけでなく、大衆芸能をはじめとする演劇祭の同時開催も視野に入れ、一層の誘客を目指し、本区の特徴を活かした事業を展開していきます。

4面・5面に掲載したもの以外の一般質問の項目

高柳 良夫 (台東区議会自由民主党)	1. 谷中五重塔と文化行政について 2. 区有地の活用について 3. 裁判問題について 4. 学校の屋上緑化の促進について
君塚 裕史 (台東区議会区民クラブ)	1. 乾電池の拠点回収について
池田 清江 (台東区議会公明党)	1. 団塊の世代について

秋間 洋 (日本共産党台東区議会議員団)	1. 保育施策について 2. こどもクラブの拡充について 3. 子ども一人ひとりを大切に教育
石川 義弘 (台東区議会自由民主党)	1. 特定健康診査について 2. 区内事業所数と従業者数の回復 3. 浅草駅について 4. 台東区土地開発公社について 5. 江戸文化と観光事業について 6. オリンピック誘致について
成澤 敬 (台東区議会区民クラブ)	1. 「土曜スクール」での児童の安全確保について 2. 特別支援教育について

一般質問の詳しい内容は、区議会ホームページ (<http://taito.gijiroku.com/voices>)、区立図書館、区役所3階区政情報コーナーにてご覧いただけます。公開時期については区議会事務局までお問い合わせください。